

みんなの水

「もう一リットル？」私は最近、よくこの言葉を言うようになりました。私の家では最近、台所の浄水機を買い換えました。その浄水機には前までのものと違って、メーターがついています。そのメーターは、九百リットルから水を使うにつれて、どんどん数が減っていきようになります。ある日私が米を洗っているとき、何気なくそのメーターを見ていました。すると、あまり勢いよく水を出していないのに、一リットル、二リットル：とどんどん数が減っていきます。「えっ。うそー。」

思わず私は声を上げてしまいました。ほんの少ししか水を使っていないのに、これだけの水を流している。それなら私は一人で、一日に何リットルの水を使ってるのだらう。そう。そう。私は調べてみることにしました。結果

山添村立山添中学校 三年

南 和沙

は、次のようになりました。炊事が約十リットル、飲料水が約一リットル、洗いものが約十リットル、洗濯機の一回の使用量が約八十リットル、浴槽の水が約二百リットル、入浴時のシャワーの水が約十リットル、合計で約三百七リットルとなりました。この量は、二リットルのペットボトル約百六十本の量です。十四年間私が生きてきた中の水の使用量は、約八十一万八千本となります。私は今まで、まさか自分がこれだけの量の水を使っていたということを知りませんでした。だから、このことを知ったときは、信じられませんでした。そして改めて、日常生活の中で水をどれだけ使っているかということを知らされました。

私の家族は、植物がとても好きです。だから、庭にはたくさん植物が植えられています。

す。夏の暑い日、水やり当番だった私はすっかり忘れていました。だから、その日は誰も水やりをしませんでした。すると、昨日まではとても元気できれいだっただけで、たった一日水やりをしなかっただけで、少ししなびてしまいました。しかし、花を自分の立場に置き換えると、その「たった一日」はとても長い一日だったと思います。毎日、一日に水を三百リットル以上使っている私たちには、耐えられないと思います。

これらのことから、人間も水を必要としています。人間と同じように植物も水を必要としていることが分かります。しかし、それも植物だけではありません。地球上に存在する、ほとんどの生物が水を必要としているのです。

私たちの住む日本では、蛇口をひねるとすぐに、安全な水が出てきます。そして、その水を流しっぱなしにすることもできませんし、蛇口をひねって止めることもできません。一回水を止めただけでは、ほんの少しの差かもしれませんが、それを毎回続けると、大きな差になります。安全な水を毎日使えることがあ

たり前。そう思っている私たちは、その大切さに気づかないことが多いのです。だから私は、「水」というものを真剣に考え、将来全ての人が「節水」をすることがあたり前だと思えるようになるべきだと思います。

世界にはまだ、安全な水を継続的に利用できる人々がたくさんいます。その人々にとって、「水」というものはすごく貴重なものです。だから、多くの水を無駄にしないと思います。私たちは、そのような人々や、地球上に存在するほとんどの生物たちのためにも、「水」というものをもっと大切にしなければなりません。

地球上にある水のうちで、私たちが容易に利用できる量は、〇・〇パーセントだけです。私たちがそれをどう使うのかによって、多くの生物たちの命に関わる問題になってしまいます。だから私は今日も言います。「そんなに水出したら、もったいないやん。」と。